

店主の紺野章子さん



西武・東村山駅から歩いて15分ほど。緑豊かな狭山丘陵を背にした住宅街の一角に「茶かわせみ」はある。



靴を脱いでホッと緑茶

ドアを開けると、2人用テーブルが四つ。靴を脱いで一段上がるフロアにカウンター席が七つある。「ハイキングやバードウォッチングで歩き疲れたお客さんは『靴を脱げるのがいい』と言います」。店主の紺野章子さん(56)が言う。

2008年、自宅の一部を改築して店を開いた。それまでのほぼ四半世紀は、大手電機メーカーで研究開発に携わっていた。店名は近くを流れる川で見られるカワセミにちなんだ。東村山市立北山公園と都立八国山緑地が目と鼻の先にある。東向きの出窓からは木々の緑を染しめる。上煎茶や玉露など7種類の日本茶



国分寺茶=いずれも東村山市野口町3丁目

茶かわせみ

- ・東村山市野口町3丁目42-18
(電話042・392・5590)
- ・午前9時～午後5時30分(10月～3月は午後4時30分閉店)、木曜・第3水曜定休

日本茶400円～、コーヒー400円、おぜんざい450円、粥セット650円(いずれも税込み)

「本を読んだりしながら、ゆっくりしてほしい」と、紺野さんは話す。朝の散歩を終えて店を訪れ、お茶と、ぜんざいや黒五ブランマンジエといった甘味を味わう常連が多い。地元産野菜の煮物や香の物が付く粥セットは、小腹を満たすのにちょうどよい。(鬼頭恒成)

をそろえる。日本茶インストラクター資格を持つ紺野さんのおすすりは「国分寺茶」。西武国分寺線窓ケ窪駅近くの茶畑で栽培されるこのお茶は、口に含むと濃厚なうまみと甘みが広がる。お湯を差し替えて出す2杯目、3杯目はすっきりした味わいになる。